



スキー協通信

No.458

発行

2023. 8. 1

東京都勤労者スキー協議会

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22山柿ビル3F 03-5842-1932

ホームページ : <http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail : tskikyo.koho@gmail.com

ゆうちょ銀行口座 : 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)
00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)

発行責任者

出崎福男

気候変動(地球温暖化)“今そこにある危機”について学び行動を起こそう!!

東京スキー協第 56 回定期総会開催



市川正幸会長挨拶

こんにちは。コロナが収束したように公表されていますが、落差が生じているとかで、なかなかクラブ活動にも支障を来すような状況になっていることと、スキー環境の悪化、早く雪が解ける状態など、地球温暖化が原因とされていますが、この対策なども含めて、我々がこれからどんな活動をしていくのか、クラブの経験なども踏まえて、今日の総会の中で論議して欲しいと思います。

特に、クラブ活動の中で、コロナでクラッシャーのような状態になったクラブがあったとの報告を聞いています。いろんなことで、これまで経験してきたことを共有して改善していくという点で、今日の総会の中で提案して欲しいと思います。時間が半日ということで短いですが、貴重な意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。

目次

東京スキー協第 56 回定期総会報告	2-3 頁
代議員発言集	3-6 頁
第 56 期役員体制／第 56 期各局・委員会・実行委員会の体制	6 頁
東京スキー協 56 期行事日程 (案)	7 頁
山スキー委員会からのお願い／8・9月のカレンダー／エビのシッポ	8 頁

第 56 回定期総会報告

(メッセージ、提案説明、発言等は紙面の都合により要約してあります)

- ◆第 56 回定期総会は、6 月 18 日 (日) 午後 1 時 30 分から、北区滝野川西区民ふれあい館大ホールにおいて、昨年が続いて対面により行われ、全ての議案が提案どおり可決・承認され、新たな役員を選出して終了しました。
- ◆今回の総会には、23 のクラブから 26 名の代議員 (前回は 19 のクラブから 22 名) と役員が 23 名 (定数 30 名) が参加 (コロナ感染による欠席あり) し、傍聴者 1 名、合計 50 名が出席しました。総会定数 (64 名) に対する出席率は 77% (前回は 75%) でした。

《メッセージ》

新日本スポーツ連盟東京都連盟理事長 小林章子 様

2020 年の春から始まった新型コロナウイルス感染拡大の影響はようやく出口が見え始めてきました。この間、新日本スポーツ連盟東京都連盟は 8000 人ほどいた会員が 6000 人まで減少してしまいました。日常的に大会や行事が無い、クラブ活動も出来ないことなどで加盟が減ったことなどに加え、高齢化、後継者不在も後押しして加盟クラブが解散したことも大きな要因でした。

4 月 15 日に東京都連盟は総会を開き、コロナ禍前の会員水準まで回復させようと提起し採択しました。その柱の一つとして、既存クラブのテコ入れがあります。新しい人をクラブに迎え入れることによって基本的な層を厚くすることを考えています。その手段の一つとして主に、ホームページや SNS を使って行事やクラブの宣伝を行うほか、「ジモティー」や「スポーツやろうよ」等の無料でクラブメンバー募ができるサイトへの登録のお手伝いを行っていきたくと考えています。

協議会の主催する行事への参加者を増やし加盟チームを広げていくこと、加盟クラブ員を増やすことで、東京都勤労者スキー協議会そして東京都連盟、スポーツ連盟全体を大きくしていくことができると考えております。

コロナ禍が明け、これからあらゆるところで本格的に活動が再開していくなか、スキー愛好者の要求に応える指針を示して、東京都勤労者スキー協議会の仲間づくりの輪がより一層広がるような方針が今日の総会で議論されることを期待しています。

最後に、今後の運営の中心となる担い手不足が全組織の深刻な課題となっています。将来の東京都勤労者スキー協議会発展のために新しい人材の登用や世代継承にも積極的に取り組んでいただくことをお願いして挨拶とさせていただきます。

全国スキー協理理事長 小川 洋 様

全国スキー協は 6 月 11 日に第 33 回全国総会を開催しました。代議員 80 名に対して 60 名を超える参加で無事に総会を終えることが出来ました。今回の総会では各県から「コロナから再生し始めている」「ホームページから会員が増えた」「クラブ対抗競技大会が大成功した」等元気な声が聞こえる一方でまだコロナから脱出できていない組織や高齢化で県組織を存続できない危機に見舞われているという現実も鮮明になりました。

全国スキー協では、①100 万円をかけて全国スキー協ホームページのリニューアルと各県スキー協のホームページ作成を全国主導で行う (組織局)。②2024 年のサマーセミナーは青森市で開催する。③各クラブ 10%の会員増を目標にする。④デモ選・STC を北海道で開催する (技術部)。⑤第 50 回競技大会は全国主管で 2 月 24~25 日湯の丸スキー場で開催する (競技部)。等の方針を決定し組織前進に踏み出していきたいと考えています。

厳しい情勢の中ではありますが東京スキー協のさらなる発展を祈願しまして全国スキー協からのご挨拶とさせていただきます。

第 55 期活動報告・第 56 期活動方針案の提案説明 出崎福男 理事長



55 期の活動は、コロナ感染症感染拡大もあったが、東京スキー協主催行事の大半は開催できた。クラブ行事も三多摩 6 クラブ合同の春休みスキー教室が 4 年ぶりに開催されるなど、全体としては前進の方向に向かっている。東京スキー協 50 周年記念誌については本総会で皆さんにお渡しする予定だったがお届けできず、「近日中に完成予定」との内容に訂正させていただく。

会員数は 19 名の減となっている。29 クラブ中 13 クラブが会員減。組織財政面としては、あらたに初級指導員が 3 名誕生したこと、スキーセミナーや山スキーの集いが再開されたことがある。財政面で厳しい状況が続いている。教育技術局や競技スキー委員会主催行事で黒字を生み出している一方、東京スキー競技大会では前期に引き続き大きな赤字になった。東京競技大会については、コスト削減や新たな参加者獲得に努めたが充分でなかった。繰越金減少は東京競技大会の赤字が大きいが、55 期予算比では繰越金 20 万円減を見込んでいたが、17 万円に抑えることができた。カンパの努力や事務所経費の削減を評価したいと思う。(以下略)

56 期の基本方針について提案する。東京スキー協の発展にはクラブの活性化と、クラブ単独ではできないことをスキー協として提案、実行していくことが大切。本総会に出席している代議員や役員がその先頭に立つ、クラブの活動の積極的な紹介や会員要求のくみ上げと行事に積極的に参加することが何よりも重要だ。(以下略)

《代議員発言集》

田畑 健 (こなゆき)



方針案は報告と方針が大変よく練られており、基本的に賛成する。それを前提にスキーが置かれている状況をちょっと見てみたい。東京都が毎年出している暮らしと統計

冊子のスポーツの欄を見ると、10 歳以下の子供を除いて実施率 3%以上の「スポーツの種類別行動参加の推移」というのがあり、去年はスキー・スノーボードは 10 位だったが、今年は 15 位に下がっている。ということでスキーをやる東京都民がかなり減っている。その中でスキー協は 430 人の会員を維持しているというのは、客観的に見て健闘していると思う。スキー・スノーボードが減っている原因は、ひとつはコロナがあると思う。だが、その底には勤労者の所得が上がらない、むしろ下がっている、年金者の年金も下がっている、こういうところに原因があるのではないかと思うので、生活の基礎の改善が大きく求められているのではないか。

もう一つは、方針でも述べられているが、温暖化の問題。スキーメイトの 3 月号に沖縄の亀山さ

んが「雪なし県が北上している」、近い将来、南魚沼市辺り、新潟県の標高の低い所ではスキーが出来なくなるだろうとみている。非常に温暖化の進みが早い、これは人間が作りだした現象だ。11/30～ドバイでカップ 21 が開かれる。スキー協も含めて環境団体はそれにあわせて意思表示をすべきだと思う。スポーツの広場の昨年 12 月号に、全国スキー協の山スキー部が去年の 7 月 16 日に行った「温暖化についての講演会」の中身が載っている。スキー協としても、温暖化についての勉強会を、今年か来年の春くらいにオンラインでやっていただきたい。講師として琉球大学の亀山教授を提案したい。

小柳光雄 (モルゲンローテ)



三多摩 6 クラブ合同の春休みスキー教室について発言したい。モルゲンローテ、多摩プレアデス、町田シャッシュネーズ、日野風花、雪舞の 6 つのクラブで

実行委員会を作って続けてきた。参加者は 36 名、そのうち一般参加が 9 名あった。課題も見えてき

た。一番の課題は、三多摩6クラブと言ったが、実際に実行委員会に参加してきたのは3クラブだけだった。日野風花の解散によってこれからは三多摩5クラブとなるが、その中でも3クラブだけの結集となっている。

指導員が足りない。日程が確定したらお知らせするので、ぜひ力を貸していただきたい。

これまでの36回の行事によって約70万円の貯えがある。それをどう使うか、これを元手にして参加する子供たちへの補助を検討している。

技術部について、去年の総会において、若い技術部員を募集したいと話があったが、そういう方々はフルタイムで働いている。中央研修会や技術部会の日程を見ると月曜がはいっている。フルタイムの人が参加できる日程にしてほしい。

大山恵三 (モルゲンローテ)



2月のクラブ合同行事について報告したい。大型バスでの行事は20名以上の参加が必要、これ以下だと大赤字になる。20名を目標にスタートした。実施は結構人数が集まり、滞りなくやれて良かったと思っている。

会場は乗鞍高原だが、一番よかったのは交流会だった。食堂で飲みながらみんながスキー歴を語るという内容だった。指導員クラスが沢山いたので、大変盛り上がり、面白い交流会になった。やって良かった。

川上咲子 (中野 SNOW)



クラブ会員数は5人、実際に滑っているのは2人。クラブ行事は年に1回舞子でやっているが、東京スキー協の行事に参加することをメインにしている。3月の春のテクニカルフェスタ

に4人で参加した。一緒に参加した夫妻は楽しかったと感想を述べていたので、来年のスキー協の行事に誘いたいと思っている。

競技大会は参加者が少なかったが、ポールをやってすごく楽しかった。山スキーに初めて参加し

た。山スキーをやっている人はいろんな雪質の所で滑っているのに感心した。何より板を付けて山を登ることは大変だったが、自然の中で滑る楽しさを体験できたので、また来年も参加したい。これは1回経験しないと分からないことなので、スキーの楽しさを広げる取り組みが大事だと思う。

指導員ミーティングに3年参加している。どう教えていくか悩んでいたところだったが、指導員ミーティングの中で、グループ別にビデオを見ながら、気を付ける所などを話し合っていく中で、私なりの教え方が身につけられたら良いと思っている。多くのことを学んでいきたい。

桑原義則 (EGS)



今回代理で出席した。私自身のスキー協との繋がりが薄すぎて、山スキーしかないのかと思っていたが、今日話を聞いていたら、競技もやっているとので、認識を新たに

にした。会長・島崎の熱いメッセージがあったのだが、うちのクラブはインターネットの良さを活かして、全国や世界とつながる中でクラブ運営し、広がりを持っていくことを目的に活動している。事務的なことも時代に即したITの良い面を追求し、スキー協のIT化を共に進められるように貢献したいと考えている。全ての会員、これから会員になってくれる人に、スノースポーツをはじめ、スポーツの楽しさを広げ繋がっていくことを大切にしていきたいと思っているクラブです。

なので、スキーだけでなく、今年の冬は、クロスカントリーや、スノーボード、山スキーとかをやってきた。これからのグリーンシーズンでは、この前は、サーフィンをやったが、こんどは冬のシーズンに向けてマウンテンバイクを予定している。新参者ですがこれからよろしく願いしたい。

上林幹雄 (エーデルヴァイス)

正会員が18名、休眠会員が11名のクラブ。この1年間にクラブ行事を25回開催し、延べ参加者が約160名になっている。シーズン中はもとよりオフシーズンも切れ目なく活動している。しかしクラブの高齢化は否めない。クラブ行事をするう



えで足（車）の問題が深刻になってきている。もう一つケガの問題がある。注意はしているが、昨年パトロールにお世話になる事が出た。ケガをきっかけに退会に繋がってしまうこともあり、ケガをさせないということを重視し、大半の会員がヘルメットを着用している。足の問題では、来期、現地集合・現地解散という方法をやってみることを決めた。高齢化や行事の足の問題などは各クラブ共通の問題であり、クラブ合同でバスを仕立てるなどの方法を、クラブ代表者が集まって相談する機会があってもよいのではないかと。スキー協で検討して欲しい。

鈴木 綾（チーム・スポーツ板橋）



わがクラブは同じ業界で働く人たちが多く、競技大会なども行っている。スキー協の活動、特に舞子の大会に参加している。昨シーズンは多くの行事に参加

し、クラブの活動が盛んだなという印象を受けた。またコロナが落ち着いたこともあり海外スキーにも取り組んだ。

3点について発言したい。まず、ホームページが新しくなるという話があったが、若い人を呼び込む手立てとしてSNSなどをうまく活用する方法があると思う。個人的な感想だが、（スキー協の）役員の情報HPのどこを見てもない。どういう人たちが熱心に頑張っているのかが分からない。また、地球温暖化の問題とか、幅広い視点で、何をこの団体として行っているかなどを発信することによって、新しい参加者の獲得につながるのではないと思う。

次に、今年指導員検定を受検し合格したが、（拍手）教程の難しさを認識、理解を深める必要性を感じた。

最後に地球温暖化について、クラブで何が出来るか、緑の大切さを日々感じてもらうことが大切な年間を通じた活動を追求したい。

八藤後雄二（ともしびスキーサークル）



総会での発言は今日が初めて。20年近く冬のページェントという、ともしびのお客さんを主体としたスキー行事を続けていたが、その時にスキー協から多くの指導員を派遣していただいていた。楽しい企画に協力いただき感謝している。現在は参加者が確保できず、取り止めになっている。

ともしびスキーサークルを作ってスキー協に加盟し10年近くになるが登録会員は3人。年に2回スキー行事を行っている。2月には、戸隠に行ってきた雪やきれいな空を見ようという企画をしている。15名ほど参加。スキー協の指導員も4人ほど集まるので、一緒に安全に滑るという行事になっている。歌声喫茶ともしびは、3年ぶりに去年の11月に高田馬場に移転して営業が再開。

横川一星（シーハイル）



今27歳、入会したのは2015年、今年で8年目になる。去年からクラブの会長をしている。今年の3月に初級指導員に合格した（拍手）。両親の影響で幼

少期から6年間スキーをやっていた。

その後9年近くスキーから離れていたが、大学に入りその冬に友人と湯ノ丸に行き、レンタルでスキーをした。その時の爽快感、自然の中で滑る気持ちよさが昔の感覚を呼び覚ましてくれたようで、スキーの楽しさにハマってしまい、翌年には道具を全部揃えた。大学4年間スキー中心で過ごしてきた。社会人になっても土日の休みにはクラブ行事に参加してきた。

クラブの会員は16名、半分くらいが親戚の集まりのような状況にある。和気あいあいとやっているクラブ。SNSを使ったり職場の同僚を誘ったりして、組織の若返りを図っていかれたらと考えている。雪不足など環境問題は難しいかもしれないが、ポジティブに考えてスキー協を発展させていきたい。

藤井一雄（エーデルヴァイス）

決算・予算案については賛成の立場である。予算についてだが、今期繰越金がまた30万くらい減



少している。このまま数年たつと使い切ってしまうような状況にある。このことをスキー協全員の認識として持たなければいけないと思う。赤字を減らすため

に、クラブ全体が、東京スキー協行事の意義を考え、みんなで積極的に参加するような雰囲気作りが必要だと考える。大変な予算なんだということをみんなで確認したいと思う。

第 56 期役員体制 (第 1 回理事会において選出)

会 長	市川 正幸 (どさんこ・ウィークデー SC) 留任	
副会長	福島 明 (シーハイル SC) 留任	
	間間 至 (チーム・スポーツ板橋) 新任	
理事長	出崎 福男 (コロポックル SC) 留任	
副理事長	車田夕紀子 (練馬ヒューマン SC) 留任	
	星野 昌弘 (町田シャスネージュ) 留任	
	高橋 勝美 (スラローム) 留任	
常任理事	芦村 憲一 (銀嶺 SC) 留任	梶並由美子 (中野 SNOW) 留任
	斉藤 敏晴 (どさんこ・ウィークデー SC) 留任	矢吹 健 (銀嶺 SC) 留任
	小柳 光雄 (モルゲンローテ SC) 留任	

第 56 期各局・委員会・各種実行委員会の体制 (7/17 開催の第 2 回理事会において決定)

《理事・常任理事の局担当》

- 教育技術局 局長：高橋勝美
常任：福島 明 (副会長)、間間 至 (副会長)
理事：中里隆太郎、伊藤正明
- 組織局 局長：星野昌弘
常任：斉藤敏晴
理事：松本幸男、本多賜代、蓮見玲子、藤井一雄、海野 茂
- 総務局 局長：車田夕紀子
常任：吉田安信
理事：北山光治、北川勝治、末広明美
- 広報局 局長：小柳光雄
常任：芦村憲一、出崎福男
理事：高橋豊明、長谷川かよ子、平井光子
- 理事会事務局 常任：梶並由美子
理事：矢口政武

《委員会の担当》

- 山スキー委員会 理事：吉田安信、矢口政武、
- 競技スキー委員会 常任：矢吹 健、高橋勝美、間間 至
理事：末広明美、長谷川かよ子

《各種実行委員会等の担当》 ◎が責任者 中心になって今後実行委員会を立ち上げていく。

- 東京競技大会 常任：◎出崎福男、市川正幸、矢吹 健、
理事：末広明美
- テクニカルフェスタ 常任：◎高橋勝美、福島明、間間 至
理事：長谷川かよ子
- 春のテクニカルフェスタ 常任：◎高橋勝美、福島明、間間 至
- 駅伝・BBQ 常任：◎市川正幸、斉藤敏晴

東京スキー協56期行事日程(案)

	東京	全国・その他
7月 日(日)	第2回理事会 13:15~17:00(集会室利用)	
8月20日(土)	公認資格者登録・会員登録・会費/登録料納入締切	
8月 日		関東ブロック技術部会
9月2日(土)~3日(日)		全国山スキー部会
9月3日(日)	スキーセミナー 13:30~16:50 北とびあ第二研修室	
9月24日(日)		全国競技部会(ZOOM会議)
10月19日(木)	第3回理事会 19:30~21:30(ZOOMによるリモート会議)	
10月 日	指導員ミーティング	
10月22日(日)		関東ブロック初・中級スキー指導員養成理論
10月29日(日)	平和駅伝&BBQ	
11月 日	山スキーのつどい	
11月 日		全国スキー協理事会
11月 日	山スキー講座	
11月25日(土)~26日(日)		全国技術部会(志賀高原)
12月2日(土)~3日(日)		中央研修会 週末コース(志賀高原)
12月4日(月)~5日(火)		中央研修会 平日コース(志賀高原)
12月 8日(金)	指導員研修会(応用)(志賀高原一の瀬)	
12月 8日(金)	指導員受験者レベルアップ講座(雪上)(志賀高原一の瀬)	
12月8日(金)~10日(日)	テクニカルフェスタ(志賀高原一の瀬)	
12月9日(土)~10日(日)	第1回指導員研修会(基礎)(志賀高原一の瀬)	
12月9日(土)~10日(日)	関東ブロック初・中級指導員養成実技(志賀高原一の瀬)	
1月頃		山スキーリーダー養成・研修・レベルアップ講習
1月7日(日)~8日(月)		ベーシックフェスタ・講習会(湯の丸)(全国スノーボード部)
1月	かぐら山スキー教室	
1月20日(土)~21日(日)	舞子GS練習会(舞子リゾート)	
1月20日(土)~21日(日)		STC & デモ選(北海道:予定)
2月3日(土)~4日(日)	第48回東京競技大会(シャトー塩沢)	
2月11日(日)~12日(月・祝)		テクニカル・クリニック試乗&講習会(湯の丸)(全国スノーボード部)
2月	安達太良山スキー教室	
2月17日(土)~18日(日)	SL練習会(舞子リゾート)	
2月24日(土)~25日(日)		第50回全国競技大会(湯の丸)
3月2日(土)~3日(日)	春のテクニカルフェスタ(志賀高原一の瀬)	
3月2日(土)~3日(日)	第2回指導員研修会(基礎)(志賀高原一の瀬)	
3月2日(土)~3日(日)		デモンストレーター育成特別講習会(志賀高原)
3月9日(土)~10日(日)		テクニカル・講習会&検定会(栲池高原)(全国スノーボード部)
3月	乗鞍岳山スキー教室	
3月10日(日)(予定)		関東ブロック初・中・上級指導員検定会(かたしな高原:予定)
3月16日(土)~17日(日)		STC & デモ選(志賀高原)
3月21日(木)	第4回理事会 19:30~21:30(ZOOMによるリモート会議)	
4月6日(土)~7日(日)	志賀GS練習会(志賀高原一の瀬)	
4月13日(土)~14日(日)		全国技術部会(志賀高原)
4月17日(水)~18日(木)	平日スペシャルフリーレッスン(かぐら)	
4月20日(土)~21日(日)		セッター研修会(野沢温泉)
4月27日(土)~28日(日)	ゲート練習(志賀高原:予定)	
5月	鳥海山山スキー教室	
5月	八甲田山スキー教室	
5月16日(木)	第5回理事会 19:30~21:30(ZOOMによるリモート会議)	
5月	立山山スキー教室	
5月		関東ブロック技術部会
5月	指導員ミーティング	
6月 日		全国スキー協代表者会議
6月16日(日)	第57回定期総会	

待ってろ、ゲレンデ！

リレーエッセイ

雪紋

東京スキー協 常任理事 齋藤敏晴

最近マスクを外す機会が多くなった、特に外出時に、世間はこんなにもニオイに満ちているのかと改めて感じる。朝・昼は肌を刺すような太陽光をさけて、皆が夕食に舌鼓を打っている時をめがけてウォーキング、時々ジョギングに500mlの水を持って出かける。とすると途端に来たあのニオイ。どこかのうちでカレーである、子どもの声がする、母親の叱る声がある、日常が戻りつつあるのを感じる、外に出て足早に歩き出す。するとすぐに来た、あのニオイだ。あたりを見回すと、あ、あった。最初わからなかったが妻がクチナシの花だと教えてくれたあの花だ。おもわず足を止めて顔を近づける。蒸し暑い夕方なのになんともすがすがしい香りが当たり一面に漂っている。キンモクセイの木もある。花は散ったがニオイがよみがえってくる。ニオイは不思議だ。子どものころあったニオイを時々感じることもある。そうすると、その当時のもとへと心が瞬時にそこにいる気分させる。昔かいだニオイは確かにある。前置きが長くなったが、ジョギングを始めたのには訳がある。昨シーズン肋骨を2本骨折したのだ。昔やったヘルニアが急にうずき出し足が思うように上がらずちょっとしたコブにつまづいて胸から落ちてしまった。指導員試験をフイにしてしまった。これではいかんと奮起して歩と走を始めた。あと5か月もするとシーズンがやってくる。それまで体を鍛え直して再挑戦するぞ、と今から気持ちが高ぶっている私です。待ってろ、ゲレンデ！

山スキー委員を あらゆるクラブから

総会、お疲れ様でした。意見、提案、様々な発言、等々、お聞きでき大変参考になりました。

一言、山スキーについて行事をすすめてきた立場から、今期、開催した山スキー関連行事（集い、講座、教室……）に、期待する声も少なからず寄せられています。ご参加、協力ありがとうございました。毎年行事案内を作成し、東京、その他、近郊各県の山スキー関連スポーツショップに置いていただき周知に努めています。来シーズンも関連行事成功のため取り組んでいくべきだと思います。しかしながら、そのために多くの方々の協力が必要です。一方で、委員の高齢化、少数化も現実です。行事中に何か起きたら、参加者に自己責任などということは言えません。あらゆるクラブから、ぜひ山スキー委員会へ委員を送り出してください。あえてお願いします。エーデルヴァイス、シュプール、プレアデス、モルゲンローテ、ゆきけむり、雪舞、など、現在、山スキー委員のいないクラブの皆さん、山スキー委員を送り出して下さい。検討よろしくをお願いします。

山スキー委員会 長部保雄

8・9月のカレンダー

8月	行事名	9月	行事名
20(日)	・会員・指導員登録期限 ・会費・登録料・メイト代納入期限	3(日)	スキーセミナー（北とぴあ）

編集後記 エピノシッポ

コロナがインフルエンザと同じ扱いになり行動制限がなくなり何処にでも出かけられるようになりました。しかしコロナウイルスが安全になったわけではありません。巷では、9波も囁やかれています。感染予防のためには、外出時マスクの着用、うがい、手洗いの励行が基本です。感染に気をつけながら来シーズンを迎えましょう。（平井）